

みなさんお元気ですか。

2017年1月の当道場での様子をお便りします。ご覧くださいませ。



1月11日。今年に入って五日めの稽古である。昨日は、大統領就任式がありこの道場は使えず、休みとした。今日も5時過ぎに公園の小ホールに来て、管理者に会った。管理者は快くこのホールを開けてくれた。実は、今朝生徒の一人がこの管理者に交渉して、5時以降でもこのホールを使えるように、小ホールの扉を開けてほしいとお願いしていたからだ。5時以降の小ホールの開閉問題は片付いたと感じた。今日も10名以上が稽古に来ている。私には想像できなかった。豊がないにも関わらずみんな熱心に稽古する。先月はほとんど生徒がいなくて、私自身も先ゆきが心配だったが、なぜか今年に入って急に大勢になった。いつまでこの人数が続くか、興味津々だ。



1月12日、新しい生徒が3名体験入学した。一人は14歳。親が月謝を払いにきた。この青年は、なぜかいつもポケットに手をいれて立っている。ポケットに手を入れるな！と注意したが、相変わらずだ。合気道には、興味があるのか、と尋ねたら、はいとすぐに返事した。あとの二人は青年で、一人は英語が分かり、もう一人は英語が分からない。私の英語での説明を英語の分かる生徒がそうでない生徒に説明しながら、二人に体の変更をやらせた。呼吸と身体の動きを合わせながら体の捌きをするようにと指導した。私の呼吸による力が相手にも伝わったのか、驚きとイキイキした感じで繰り返し体の変更を稽古していた。こちらの人は、自分の感情を身体で表現するのが早い。さて、この新人もいつまで続くかだ。



1月13日、5時過ぎに道場にいったら、また鍵がかかっていた。昨日は、開いていたのにどうしてだ。ガードマンはもう鍵を持っている管理人は帰っていないと私に言った。私はもう一度確認するために、園内を見てまわった。管理人はまだ帰らずにいた。小ホールは、扉が三か所あり、さらに男子便所と女子便所の二か所の扉がある。この小ホールの周り5か所の扉のうち、ホールの二か所の扉と男子便所の扉のみ、鍵を開けてくれた。女子便所の扉は開けてくれない。女子は男子便所を使うように。その後で男子が使うようにとのことだった。小ホールの扉も2か所だけ開けてくれた。出入りが不便で使いにくい。管理人にこの小ホールの鍵を貸してくれないか、責任をもって管理するからといったら、ボス（市の広報部長）に手紙を書いて、許可を貰ってほしい。管理人は、私に鍵を貸すことは許可するから、と言って帰ってしまった。後はガードマンが戸締りするとのこと。小ホールの開閉問題は、まだ解決されていなかった。



先週の日曜日から書道のクラスを開設した。今日は二回目新たに二人が習いに我が家に来た。一人は合気道の生徒（エリベルト）で、もう一人は、過去に合気道をやったことがあるという生徒（ルイス）である。エリベルトの合気道暦は長く、初代のJICAボランティアの合気道指導員（佐藤先生）のときにはじめたそうだ。18年くらい前に開始したそうである。ルイスの仕事は、カサカスタマーサービスで、銀行への預金や送金などの問い合わせに対応する仕事とのこと。書道が初めての二人には、最初にカタカナを教えて、つぎに漢字を教えることにした。しかし、彼らには、自分の名前をカタカナで書くことで、時間が過ぎてしまい一回目の書道クラスは終わった。2時半から5時くらいまで筆を使って、一所懸命に書いていた。長時間机に向かって書き物をしたことがないのではないか、と思わせる感じだった。少し疲れた感じで帰っていった。



1月16日、今日も10人の生徒が稽古にきた。今年に入って8日目の稽古だ。私はいつも生徒の人数が気になる。道場には畳がないので、武器技の短刀取りを教えている。今日は、四方投げ、および呼吸投げによる短刀取りを教えた。さて、先週の土曜日にこの小ホールで日本語スピーチコンテストが行われた。今日は月曜日なのだが、このホールには、テーブルと椅子がホールの片隅に置いたままで、片付けが中途半端である。納戸にいられてあるものもあれば、ホールの真ん中に置きっぱなしのものもある。しかし、ホールの床や便所はきれいに掃除されていた。これは、一昨日の日本大使館主催のスピーチコンテストに合わせて清掃したのだろう。しかし、イベントが終わったらあとは、手を抜いている感じがした。きつと言わないと動かないのかも。実は、合気道の生徒にも同じことを感じる。小ホールに早くきてもジッとしているだけ。自分で準備体操をする生徒は少ない。



1月19日(木)、今日は新人が二人入った。一人は、**Mauricio** (マウリシオ) の姉、もう一人は女子高校生だ。今月に入って新たに3名の女性が入った。全生徒に対して、女性の数はかなり少ないが、男性に比べて、真剣みがある。この国は、全体に女性が男性に比べて強いし、まじめで勤勉意欲がある。最近、ニカラグアの男性は、だらしがないように感じることもある。ニカラグアでは、大衆食堂でもどこでも電気のコンセントがあれば、そこで自分の携帯電話やパソコンを充電する。今回も我々が稽古をしてる最中に、突然、正装した中年男性が入ってきて、稽古を見学するのではなく、道場入口のコンセントがあるところに座りこみ、パソコンを充電し、キーボードを叩き始めた。私たちに挨拶するでもなしに、はいつてきて平気な顔で壁にもたれながら座り込んでいる。私には信じられない行為だ。私はすぐに出ていくように言った。その男性は、表情もかえずそのまま出て行った。

